

新 いわた

# 文化財だより 第29号

磐田市教育委員会文化財課 平成19年8月1日発行

◎目次◎

- 「前方後円墳とイワタの時代」展を開催  
..... P1・2
- もっともっと知りたい磐田の歴史  
-第3回 明野陸軍飛行学校天竜分教場跡編- P3
- 資料を探しています ..... P4
- コラム -谷野敦哉- ..... P4

## 「前方後円墳とイワタの時代」展を開催

磐田市立中央図書館展示室で8月26日(日)まで



南西上空から見た銚子塚古墳(国指定史跡) 1986年撮影

磐田市は、静岡県内でも古墳が集中している地域で、900基以上確認されています。この中には全長100mを超える大型古墳も見られます。企画展では前方後円墳を中心とした古墳から磐田が遠江の中心であったようすを紹介します。

### 主な展示品

堂山古墳出土 円筒埴輪棺・靱形埴輪

新豊院山2号墳出土 三角縁神獸鏡

二子塚古墳出土 馬形埴輪・人物埴輪・馬具

庚申塚古墳出土 獸帯鏡・石釧・車輪石

安久路2号墳出土 鉄製甲冑

権現山2号墳出土 大刀

## 古墳とは

古墳は、土を高く盛り上げた有力者のお墓です。古墳が造られた3世紀末から7世紀ごろまでを古墳時代と呼びます。古墳づくりは多くの労力や高度な技術を必要とする土木工事であることから、権力をもった王が現れたことを示しています。

古墳と聞くと鍵<sup>かぎ</sup>の穴の形を思い浮かべる人が多いと思います。これは教科書に出てくる日本最大の前方後円墳・大仙古墳（伝仁徳天皇陵）のイメージがあるからではないでしょうか。

また、古墳というと奈良や大阪などにあるものと思う人もいると思いますが、九州から東北地方の全国各地で見られ、磐田市にも数多く存在します。

## イワタの前方後円墳

前方後円墳は4～5世紀に全国各地に広がりました。このことは、この時期に各地の王がヤマト王権の支配下に入り、大きな墓を造ることが許されたからと考えられます。

市内では前方後円墳が30基確認されています。中でも全長110mと静岡県最大級の前方後円墳である堂山古墳を始め、100mを超える古墳が3基も確認され、いずれも、県内古墳の大きさ上位5基に入ります。

県内でも大きな古墳がもっとも多く集まっていることから、古墳時代のイワタが中央のヤマト王権にとって重要な土地であったことを示しています。



全長486m日本最大の大仙古墳

「国土画像情報(カラー空中写真)国土交通省より」

### 静岡県内古墳大きさベスト5

古墳名	全長	所在地
1 堂山古墳	110m	磐田市
2 柚木山神古墳 <sup>ゆのまやまのかみ</sup>	110m	静岡市
3 銚子塚古墳	108m	磐田市
4 松林山古墳	107m	磐田市
5 浅間古墳 <sup>せんげん</sup>	103m	富士市

### 企画展記念講演会を開催

- ◆日時 平成19年8月19日(日) 午後2時～4時
- ◆場所 磐田市立中央図書館視聴覚ホール
- ◆講師 水野 正好氏〔財)大阪府文化財センター理事長〕
- ◆定員 先着150名
- ◆申込 事前に電話で文化財課へ 電話0538(32)9699(展示室でも申し込み可)
- ◆その他 駐車場は中央図書館南側 JA 遠州中央本店駐車場へ

**★皆さんお誘い合わせの上、ぜひご参加ください**

### 袖浦の飛行学校

大正 13 年(1924)、三重県度会郡明野原に、  
陸軍戦闘パイロットの養成及び戦闘機の研  
究を目的として明野陸軍飛行学校が開校し  
ました。その後、昭和 12 年から始まった日  
中戦争によって、パイロットの増員、操縦技  
術の向上が急務となり、各地に分教場が設置  
されました。その内の 1 つで、旧袖浦村に置  
かれたのが天竜分教場です。

昭和 15 年 (1940) 6 月から測量に入り、  
11 月に工事に着工、昭和 17 年 1 月に飛行場  
が完成しました。用地として、198ha (1.98

k m<sup>2</sup>) を買収し、地元の人たちを総動員して突貫工事が行われました。耕地や池沼を  
埋め立て、東西 1.6km の滑走路 2 本のほか、格納庫 3 棟、射撃場、兵舎が建てられ、  
戦闘機として、九七式戦闘機、一式戦闘機「隼」が配属されました。余談ですが、  
海軍に所属した戦闘機が「零戦」(零式艦上戦闘機)です。



▲ 当時の地図

### 戦時中の苦難

飛行学校で操縦の訓練を受けて戦地へ赴いた  
人の中には戦没した人が数多くいます。昭和 19  
年秋には、学徒動員令により旧見付中学の学生  
も戦闘機の整備や補修等の作業に従事しました。  
戦局の悪化に伴って、戦闘機は全て特攻機とし  
て戦地へ飛び立ちました。

昭和 20 年 (1945) 8 月 15 日の終戦により、  
分教場は廃止となり、3 年余りの歴史が終わり  
ました。

### 戦後の開拓

飛行学校の跡地は、食料の増産と離職者の就  
農を目的として分割・開拓が進められました。  
開拓の苦勞の結果、現在では豊かな田園地帯が  
広がっています。

現在、跡地の一部は袖浦公園として整備され  
ています。そして、園内に格納庫の基礎部分の  
一部が残されています。また、公園の北側に開  
拓神社と開拓の碑があります。神社は射撃場の  
跡地に建てられており、石碑は開拓の成功と苦  
勞を今に伝えています。



▲ 袖浦公園に残る格納庫の基礎部



▲ 開拓の碑 (開拓神社境内)

## 資料を探しています

## 企画展「磐田に学校給食がはじまった！！」

本年10月10日から来年3月30日までの間、旧見付学校では学校給食に関する企画展を開催します。

磐田市の学校給食は、昭和12年(1937)に現在の磐田北小学校が始めた「おかず給食」が最初です。戦後間もない昭和23年(1948)には、市内5校で脱脂粉乳による「ミルク給食」、昭和26年(1951)には早くも「完全給食(パン・ミルク・副食)」が一部で実施されています。「学校給食法」は、この3年後の昭和29年(1954)に作られました。

現在、過去の広報誌により情報収集などを行っています。学校給食に関する写真、献立表、牛乳瓶の蓋などを探しています。お持ちの方は、旧見付学校(TEL32-4511)までご連絡ください。

中部小学校給食記念日(昭和34年)→



↑アルマイト製の食器と先割スプーン



## コラム — ポケモンゲットだぜ!? —

谷野 敦哉

先日、埋蔵文化財センターを訪れた子供たちがケースの中を覗き込んで、“ドータクンだ〜っ♪”と歓声を上げていました。聞けばヤツは『ポケットモンスター』に登場する雨雲を呼び起こす青緑色の空飛ぶポケモンで、ゲームではドーミラー(?)から進化するらしい??

ポケモンといえばアメリカでも大人気の日本が誇るアニメーションです。来館者のアップへ向けての起爆剤になるかも?と余計なことも考えた職員は、さっそくネットでおたしで検索してみると、そこには!!

“う〜ん、銅〇って元々新品の10円玉みたいにピカピカなんだよなあ、けっこう重いし・・・。”と、子供の夢を壊すようなことを考えてしまった私でした。

それでも〇鐸が気になるその君!!ぜひ埋蔵文化財センターに来てね♪しばらくの間、入って右の展示ケースがヤツのすみかになっています。



ドータクン(英名 Bronzong):著作権に配慮してシルエットのみお見せします。詳しくは、お近くの小学生(低学年の方がいいかも)まで

編集後記：文化財課恒例の夏の展示会が始まりました。今年は磐田の古墳から出土した県指定・市指定文化財が一堂に会します。埴輪などの大型品から勾玉などの小型品まで、かなり見ごたえのある内容です。ぜひご覧ください。

発行：磐田市教育委員会文化財課  
(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538(32)9699  
FAX：0538(32)9764  
Mail：bunkazai@city.iwata.lg.jp